

建築科（仮称）～新学科に向けて～ 产学官連携の建設DX推進プロジェクト

新時代で活躍する人材の育成～ 水俣高校建築科の魅力向上に向けて～

○DX推進プロジェクト教育目標

実践的・体験的な学習活動により、DX推進を通して、建築・建設業界及び地域が健全で持続的な発展を担う建設ディレクターとして必要な資質・能力を育成する。

○DX教育の基本方針

- 1.カリキュラム（実習）の更新と拡充
- 2.実践的・体験的な学習環境の整備
- 3.DXの応用領域の探究
- 4.継続な教員の専門性の向上

○DX教育手法

- 1.产学官連携
- 2.体験学習の実施
- 3.キャリアアドバイス
- 4.地元企業のDX化

○得られる効果

産：（地域の建設業）地元の若者が学校教育課程から仕事へのハードルを下げることで、地域の建設業の担い手確保につなげるとともに建設DXを進めて建設現場での生産性向上を図る。

（DX推進企業）水俣高校に体験学習を行うと同時に地元建設業者にDX化を広め、地元企業の労働環境改善に寄与する。

学：（水俣高校）地域の学校と企業とがパートナーシップを確立し、在学時から実践的な学びを経験することで地域産業とマッチするような生徒を育成するプログラムを構築する。

官：（芦北地域振興局）災害時の情報収集や道路啓開、応急復旧工事などを担う地域の建設業は、地域の守り手として重要な役割を果たしており、その担い手となる人材の確保を目指す。

新時代で活躍する人材

地域産業とマッチする
育成プログラム構築

水俣高校
建築科

水俣高校建築科をPR
DX人材を輩出

DX化推進
進路先確保

体験学習
機材、資材

DX現場見学

芦北地域
振興局
土木部

熊本県
建設業協会
芦北支部

生産性向上
地元技術者へDX化提案

人材確保
地元の災害防止、災害復旧

○具体的な取組み

- ・ドローン操作及び3次元点群データ処理（1年）
- ・1年次の3次元点群データにより、BIM/CIMを活用した3次元設計（2年）
- ・出来高管理（3年）
※バックオフィスの書類作成業務を担う建設ディレクターの仮想体験
- ・ICT活用工事の段階的な現場見学会（1・2年）

※建設ディレクターとは、ITとコミュニケーションスキルで現場を支援する新しい職域。ライフステージに左右されない安定した雇用が保たれるため一般的に女性に向いている。

R6実施計画：1年生工基3回・2年生実習2回・3年生実習1回及びDX現場見学

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	平板測量 レベル測量		DX ドローン			手描きの製図 建築の学びの深化						
2年	トランシット測量 CAD検定対策				DX 3次元設計					1・2年 DX現場見学		
3年	実習・課題研究 WCP		2級建築施工管理対策 工程管理を理解		DX 出来高管理							